

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 12-002

PDCA	事務事業名	観光サイン設置事業	部課等名	市民経済部 観光課 観光担当	担当	渋谷	
					内線等	324	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節： 第1節 観光・産業の振興 基本施策： 1. 観光 単位施策： (1) 観光資源の活用 個別施策： ③回遊性のあるまちづくり					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	半田市の主要観光エリアやスポットに、観光客の移動の利便性、回遊性の向上及び魅力の発信を目的として、観光客向けの観光エリア案内板や解説板を設置する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	・観光PR板2基（名鉄知多半田駅）及び観光解説板2基（國盛酒の文化館、中村街園）の掲出内容を更新する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①観光サイン設置数	2	2	0	基	
		②観光サイン更新数			4	基	
		③					
		事業費	1,382	2,368	269	千円	
		人件費	635	317	625	千円	
		総事業費	2,017	2,685	894	千円	
		活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位	
	①観光サイン1基当たりの事業コスト	1,009.0	1342.5	223.5	千円/基		
	②						
	③						
	成 果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①観光サイン更新数	実績値	2	2	4	基
			目標値	3	4	4	
②		実績値					
		目標値					
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	B					
		知多半田駅構内に設置している観光PR板と半田運河・蔵のまちエリアに設置している観光スポット解説板について、掲出内容を最新の情報に更新することで観光客の利便性の向上を図ることができた。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	令和元年度は、半田運河HOTORIプロジェクトでにぎわいの創出を図っている蔵のまち公園（荒古町2丁目）に、周辺地図及び観光施設紹介を掲載した観光エリア案内板1基を新設し、観光客が迷わず目的地にたどり着けるよう利便性及び回遊性の向上を図る。				
令和元年度の目標		成果指標	目標値		単位		
		①観光サイン設置数	1		基		